SANYO

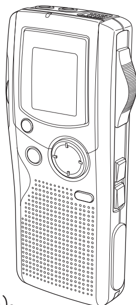
デジタルボイスレコーダー

品番　ICR-B150

取扱説明書

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は"いつでも見られる所"に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は"保証書付"になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。





SDマークは登録商標です。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	ICR-B150
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げの販売店名	電話（　）　ー

MultiMediaCard™

もくじ

はじめに

基本操作

応用操作

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△	「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠	「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体・ACアダプターについて

⚠ 警告

■ 分解・改造しない


分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない


禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない


水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池やACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ぬれた手でACアダプター（別売）をさわらない


ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■ 指定以外のACアダプターを使わない


禁止

過熱などにより、火災、ケガや周囲の汚損の原因になります。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない


禁止

ヘッドホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない


禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。温度が5℃以下、または35℃以上の場所では使用しないでください。

■ 置き場所に注意


禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。



注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない


禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでのメッセージ録音はノイズが入りますので避けてください。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない


注意

スピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープは本体のそばに置かないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

乾電池について



■ 乾電池は正しく入れる


注意

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない


禁止

乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない


禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない


禁止

長時間(1週間程度)使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 使用しているときに乾電池を抜かない


禁止

本体を使用しているときには乾電池やACアダプターを抜かないでください。録音中の内容が保持されません。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 録音内容を消去するときは、バッテリの確認をする



録音内容を消去するときは、バッテリが十分に残っているかバッテリ表示を確認してください。消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら

すぐに録音をやめて新しい乾電池に交換してください。(本体に充電池は使用しないでください。)

乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

登録商標についての注意

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。

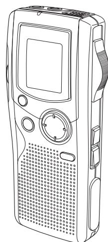


- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

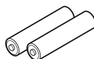
付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

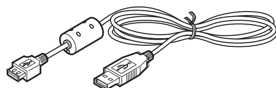
● デジタルボイスレコーダー本体 1



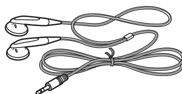
● 単4形アルカリ乾電池 2



● 専用USB接続ケーブル 1



● ヘッドホン 1



● ケース 1
● CD-ROM 1
● マルチメディアカード 1
● 取扱説明書（保証書付） 1

主な特長

付属のマルチメディアカード（32MB）1枚で高音質録音可能！

● 三洋オリジナルの録音方式（LD-ADPCM方式データ）で、約4.4時間の録音が可能です。
● 外部マイクで録音ができます。

パソコンと接続可能！

● フロッピーディスクなどの代わりとしてパソコンデータの一時保存にも使えます。
● 本機で作成した音声ファイルはパソコンで再生できます。
（USBドライバはすべてのOSでインストールする必要があります。）
→45ページ「ドライバ（USB/LD-ADPCM）のインストール」参照

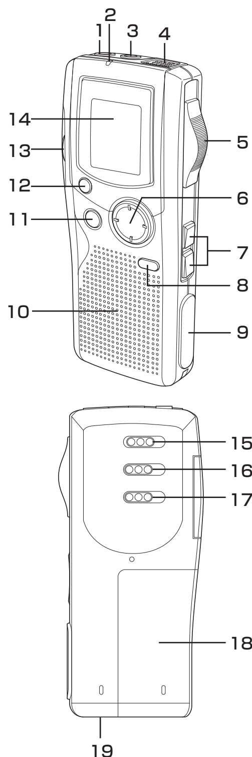
SDカードも使えます

● 市販512MBのSDカードで長時間録音可能です。

各部のなまえ

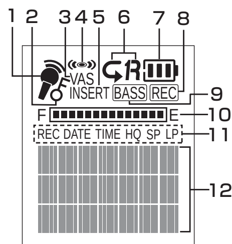
くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体



1. ヘッドホン端子(🎧)(13,28ページ)
2. 録音インジケータ(26ページ)
3. **マイク**端子(13ページ)
4. 内蔵マイク
5. オペレーションスイッチ
   (**録音**、**停止**、**再生**、**レビュー**)
6. 操作ボタン
   (上下:**＋音量－**
   右側:**タイム/セット**
   左側:**メニュー/フォルダ**)
7. スキップ/サーチボタン(⧏◁、▷⧐)
8. **ポーズ**ボタン(25ページ)
9. USB端子(**DIGITAL I/O**)(49ページ)
10. 内蔵スピーカー
11. **消去**ボタン(35〜38ページ)
12. **インデックス/キャンセル**ボタン
    (14ページ)
13. マルチメディアカード挿入口(12ページ)
14. 液晶パネル(10ページ)
15. **電源**スイッチ(13ページ)
16. **録音モード**スイッチ(26ページ)
17. **再生スピード**スイッチ(31ページ)
18. 乾電池ぶた(10ページ)
19. **外部電源**端子(**DC 3V**)

液晶パネル

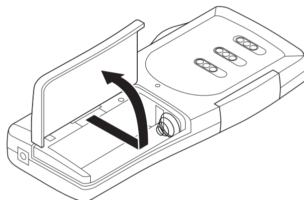


1. 録音モード表示
2. 録音消去防止「ERASE GUARD」表示
3. 音声起動「VAS」表示
4. 音声アラーム表示
5. 挿入録音「INSERT」表示
6. 再生モード表示
7. 乾電池残量表示
8. 録音「REC」表示
9. 低音域強調モード「BASS」表示
10. マルチメディアカードのメモリー残量表示
11. 録音日時、録音モード表示
12. 設定/再生時間表示など

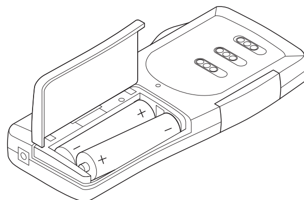
お使いになる前に

乾電池の入れ方

● 乾電池ぶたの開け方



● 乾電池の入れ方



電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの乾電池残量表示で確認してください。

[III]： 良好状態

[I]： 残量が少ない

[   ]： 電池切れ（電池切れのときは、「LOW BATT」表示後に液晶パネル表示が消灯します。）

※「LOW BATT」表示が出たときや、電池切れのときは、新しい単4形アルカリ乾電池と交換してください。

ご注意

- 使いきった乾電池は法律に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、消去中に乾電池を抜くと、録音内容は保存されないばかりか録音内容が壊れる可能性がありますので乾電池を操作中に抜かないでください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、寿命が短いことがあります。

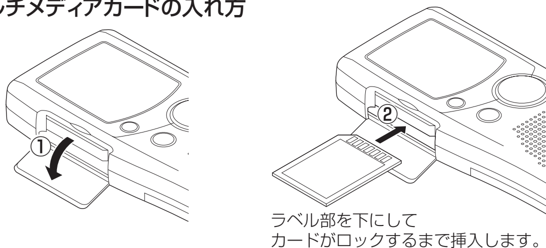
ACアダプター[別売部品]（サービス会社扱い）について

ACアダプターD3-100IC1(注文番号：645 016 1056)は別売品です。お買い上げの販売店で購入してください。

※ACアダプターは、予告なく品番を変更する事がありますのでご了承ください。

マルチメディアカード(MultiMediaCard)について

● マルチメディアカードの入れ方



ラベル部を下にして
カードがロックするまで挿入します。

● マルチメディアカードの取り出し方

1. **電源**スイッチを「**切**」にして、電源を切ります。
2. マルチメディアカード挿入口のふたを開けます。
3. マルチメディアカードを一度中に押し込むと、ロックが外れて取り出せます。

ご注意

- 操作中は、絶対にマルチメディアカードを取り出さないでください。
- 静電気のある場所などにマルチメディアカードを置かないでください。
- マルチメディアカードに録音されたデータは、別のデジタルボイスレコーダーでは正しく動作しないおそれがあります。
- マルチメディアカードを入れていない状態で電源を「**入**」にしたとき、「NO CARD」と表示されます。
- マルチメディアカードの内容を読み込むとき、自動的にVoiceRecフォルダなどが作成されます。そのフォルダは消さないでください。
- 4MBから512MBまでの容量のSDカードを使用することができます。

<警告!>

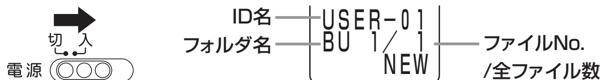
- **マルチメディアカードは子供の手の届かない場所に保管してください。もし飲み込んでしまった場合は、ただちに医師に相談してください。**

操作前に知っておいてほしいこと

ここでは、各部の基本的な使い方を説明します。本機を使用する前に必ずお読みください。

電源を入/切にする

電源スイッチを「**入**」にすると、電源が入ります。



電源スイッチを「**切**」にすると、電源が切れます。

オートパワーオフ機能

- 電源が入った停止状態で、約10分間放置しておくと、自動的に電源が切れます。

ヘッドホンを使用する

ヘッドホン端子（ ）に差し込んでください。ヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。

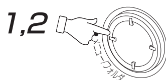
外部マイク[別売部品]（サービス会社扱い）を使用する

マイク端子に差し込んでください。外部マイクHM-R7を差し込むと、内蔵マイクははたらきません。（注文番号：620 003 3541）

日時を設定する

録音をする前には、必ず停止状態で日時の設定をおこなってください。

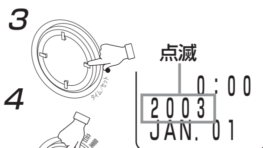
1. **メニュー/フォルダ**ボタンを約2秒以上押して表示を切り替え、PDモードを表示させます。



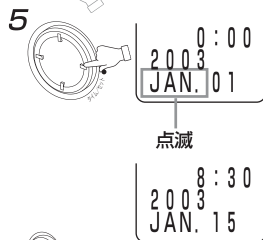
2. 日時設定の画面が表示されるまで、**メニュー/フォルダ**ボタンを押します。

3. **タイム/セット**ボタンを押すと、西暦表示が点滅します。

4. **+音量−**ボタンを押して、西暦を設定します。



5. **タイム/セット**ボタンを押すと西暦表示が決定し、次の月表示が点滅します。



6. *3*〜*4* の操作で、月、日、時、分を設定します。

※『西暦→月→日→時→分→設定完了…』の順で設定できます。

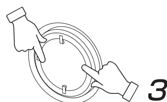
7. 設定が終わり、**インデックス/キャンセル**ボタンを押すと、もとの画面に戻ります。



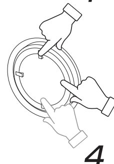
時刻表示を切り替える(12H/24H)

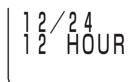
お好みの時刻表示に切り替えてください。

1. **メニュー/フォルダ**ボタンを約2秒以上押して表示を切り替え、PDモードを表示させます。
2. 時刻表示切替設定の画面が表示されるまで、**メニュー/フォルダ**ボタンを押します。
3. **タイム/セット**ボタンを押すと、「**12 HOUR**」または「**24 HOUR**」の表示が点滅します。
4. **+音量−**ボタンを押して、12時間表示または24時間表示を選びます。
5. **タイム/セット**ボタンを押すと時刻表示が決定します。
6. **インデックス/キャンセル**ボタンを押すと、もとの画面に戻ります。





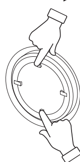


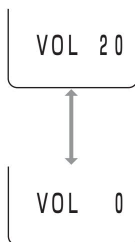




音量を調節する

再生・停止中に**+音量−**ボタンを押すと、右の画面を表示し、音量を調節することができます。

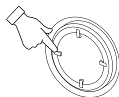




メニューモードを設定する

1. **メニュー/フォルダ**ボタンを約2秒以上押して表示を切り替え、PDモードを表示させます。

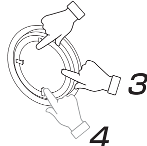
2. メニューモードを変更するには、**メニュー/フォルダ**ボタンを押します。ボタンを押すたびに、17ページのようにメニュー画面が切り替わります。



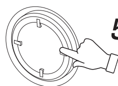
3. メニューモードの設定を変更するには、**タイム/セット**ボタンを押すと画面表示が点滅します。

4. **+音量−**ボタンを押して、希望の設定を選びます。

※詳しくは18ページの「メニューモード設定の一覧」をご覧ください。



5. **タイム/セット**ボタンを押すと、確定します。



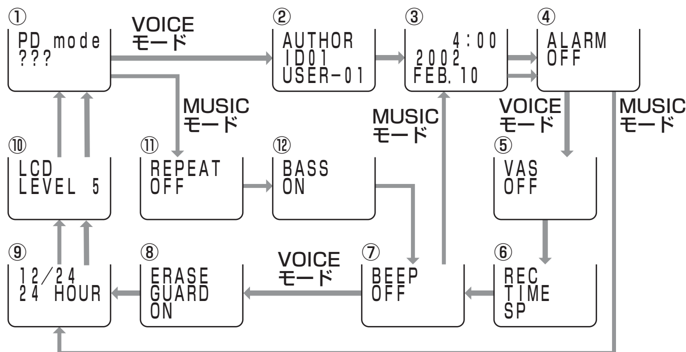
6. *2*〜*5* の操作をくり返し、全てのメニューモードの設定をおこないます。

7. 設定が終わり、**インデックス/キャンセル**ボタンを押すと、もとの画面に戻ります。



ご注意

- メニューモード表示中に約10分間何も操作しないと、電源が切れます。
- メニューモードを設定中に、**タイム/セット**ボタンを押して設定を確定する前に**インデックス/キャンセル**ボタンを押すと、設定中の項目は無視されてもとの表示に戻ります。
- 「AUTHOR」、「VAS」、「REC TIME」、「ERASE GUARD」の設定は、PD mode VOICEモード時にのみ選択することができます。
- 「REPEAT」、「BASS」の設定は、PD mode MUSICモード時にのみ選択することができます。



		初期設定値
①「**PD mode**」..................	使用モード選択	VOICE
②「**AUTHOR**」..................	ID設定	ID01
③「**Date and time**」.........	日時設定	2003.JAN.01.0:00
④「**ALARM**」.....................	アラーム設定	OFF
⑤「**VAS**」...........................	音声起動録音設定	OFF
⑥「**REC TIME**」................	録音時間設定	SP
⑦「**BEEP**」.........................	ビープ音設定	ON
⑧「**ERASE GUARD**」......	誤消去防止設定	OFF
⑨「**12/24**」......................	時刻表示切替設定	24 HOUR
⑩「**LCD LEVEL**」..............	液晶パネル濃度設定	5
⑪「**REPEAT**」....................	再生モード設定	OFF
⑫「**BASS**」........................	低音域強調モード設定	OFF

メニューモード設定の一覧

本機はモード切り替えの設定ができます。

VOICEは、会話や会議内容や屋外で音声を録音できるモードです。

MUSICは、MP3やWMA等の音楽を聴くときに選択するモードです。

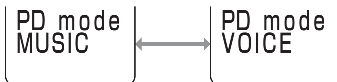
そのために ・VOICEでは音楽などは聴くことができません。
・MUSICでは会話や会議内容などの音声は録音・再生できません。

ここでは、使用モードを切り替えることで、各メニューモード設定の詳細な説明をしています。

※ 設定方法…16ページの手順 *1*～*3* を操作したのち、以下①～⑫ の各設定をおこなってください。

① PD mode：使用モード選択

＋音量－ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



※ 設定したいメニュー項目が含まれる使用モードを選択した後、各メニューを設定します。

② AUTHOR：ID設定（PD mode VOICEモード時に設定）

＋音量－ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



新規でID設定をするときは、「**NEW**」を選択します。



ちょっとこれを

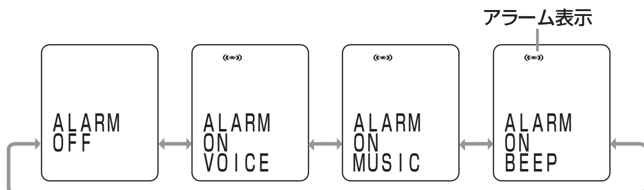
1枚のカードを多人数で共通で使う場合に便利な機能です。
IDナンバーを切り替えることで、99個のIDナンバーを使えます。

③ Date and time:日時設定

日時設定は14ページの「日時を設定する」をご覧ください。

④ ALARM:アラーム設定

+音量−ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



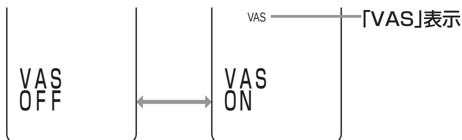
「**ALARM OFF**」	アラーム音は鳴りません。
「**ALARM ON VOICE**」	設定した時間に**ALARM**フォルダ内のWAV形式のファイルを再生します。
「**ALARM ON MUSIC**」	設定した時間に**ALARM**フォルダ内のWMAまたはMP3形式のファイルを再生します。
「**ALARM ON BEEP**」	設定した時間にアラーム音が鳴ります。

- 「**ALARM ON MUSIC**」選択時に**ALARM**フォルダにWMAとMP3両方の形式のファイルがある場合は、WMA形式のファイルが再生されます。
- 「**ALARM ON VOICE**」または「**ALARM ON MUSIC**」選択時に**ALARM**フォルダに再生できるファイルがない場合は、アラーム音が鳴ります。
- **ALARM**フォルダ内の各形式のファイル(WMA/MP3/WAV)はそれぞれ1ファイルのみ認識することができます。

※「ALARM ON VOICE/MUSIC/BEEP」のいずれかを選択して**タイム/セット**ボタンを押すと、アラーム日時の設定画面になります。
アラーム日時の設定方法は、14ページの「日時を設定する」をご覧ください。

⑤ VAS:音声起動録音設定(PD mode VOICEモード時に設定)

+音量−ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



「**VAS OFF**」............... 手動で録音の開始、停止をおこないます。
「**VAS ON**」................ 録音状態で音声を感知したときに自動的に録音がはじまり、音声がとだえると録音が自動的に一時停止します。

※ VAS機能をONに設定している場合は、録音中に**+音量−**ボタンで、マイクセンサーの感知レベルを設定することができます。
VASの感知レベルは「VAS0〜VAS10」の範囲で、数値が画面表示します。

⑥ REC TIME:録音時間設定(PD mode VOICEモード時に設定)

+音量−ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



録音される場合、**SP**か**HQ**の設定で録音されることをおすすめいたします。

「**LP**(Long time)」(長時間) .... 音質は多少落ちますが、長時間録音ができます。
「**SP**(Standard)」(標準) .... 品質の良い音質で録音ができます。
「**HQ**(High-quality)」(高音質) .... 高音質で録音ができます。

※ 録音時間は下の表を参照してください。

録音時間	メモリーカードサイズ				
	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB
LP	4.4時間	8.7時間	17.5時間	35時間	70時間
SP	2.2時間	4.3時間	8.8時間	17.6時間	35時間
HQ	1.5時間	3.1時間	6.4時間	13時間	25.5時間

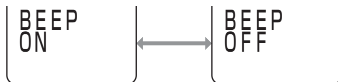
※ 本表は目安として記載していますので、実際とは若干異なる場合があります。

ご注意

録音時間の設定・変更は、新しいファイルに録音するときに有効になります。
録音されているファイルに上書き、または挿入して録音するときにも変更されます。

⑦ BEEP:ビープ音設定

+音量−ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



「**BEEP ON**」......... ボタンを押すと、「ピッ」というビープ音が鳴ります。
「**BEEP OFF**」........ ビープ音が鳴りません。

⑧ ERASE GUARD:誤消去防止設定(PD mode VOICEモード時に設定)

+音量−ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



「ERASE GUARD OFF」......... 録音データを消去できます。
「ERASE GUARD ON」.......... 録音データを消去できません。

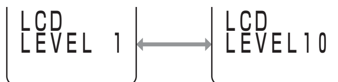
この機能はVOICEモード機能のデータに対して有効な設定です。

⑨ 12/24:時刻表示切替設定

時刻表示設定は15ページの「時刻表示を切り替える(12H/24H)」をご覧ください。

⑩ LCD LEVEL:液晶パネル濃度設定

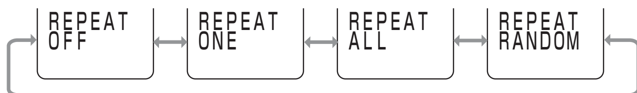
+音量−ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わり、液晶パネルの濃度も変わります。



※ 「レベル1～レベル10」の範囲で設定することができます。

⑪ REPEAT:再生モード設定(PD mode MUSICモード時に設定)

+音量−ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



「**REPEAT OFF**」............... 通常の再生(繰り返しなし)

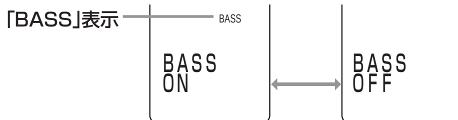
「**REPEAT ONE**」.............. 1曲を繰り返し再生します

「**REPEAT ALL**」............... 全曲を繰り返し再生します

「**REPEAT RANDOM**」..... 全曲を順不同に並べ替えて再生し、再び繰り返し並べ替えて再生します。

⑫ BASS:低音域強調モード設定(PD mode MUSICモード時に設定)

+音量−ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



「**BASS ON**」......... 低音域が強調された迫力ある再生をします。
「**BASS OFF**」....... 低音域を強調せずにフラットな音質で再生します。

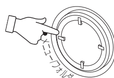
ご注意

「**BASS ON**」に設定しているとき音量を上げたり、電池残量や曲の種類によっては音が割れたり、ひずんだりすることがあります。その場合は、音量を下げるか機能を「**BASS OFF**」に設定してください。

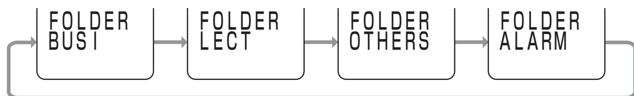
《VOICEモード時》

フォルダを選択する

メニュー/フォルダボタンを短く押すと、フォルダの選択画面になります。
メニュー/フォルダボタンを押すたびに、画面は下のように切り替わります。



フォルダを選択して約2秒経過すると、もとの画面に戻ります。



「BUSI(BU)」...................... ビジネス(仕事)
「LECT(LE)」...................... レクチャー(講義)
「OTHERS(OT)」.............. その他
「ALARM」........................... 音声アラーム

※ 用途に応じてフォルダ先を選んでください。
※ 待機中はカッコ内に表示される名称でフォルダ名が表示されます。

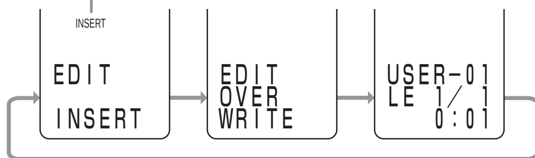
◇音声アラーム .... 設定時刻に、記録したメッセージまたはアラーム音を自動再生することができます。

エディットモードを設定する

停止状態で**ポーズ**ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。



「INSERT」表示



「**INSERT**」.................... 挿入録音
「**OVER WRITE**」......... 上書き録音
「**通常表示**」.................... 新規録音

※ 詳しくは29ページの「録音データを編集する」をご覧ください。

録音する

録音をはじめる

録音を始める前に、

必ず事前にためしに録音して正常に録音されていることを確認してください。

また、日時が正確に合っているか確認してください。

録音される場合、SPかHQの設定で録音されることをおすすめいたします。

（日時の設定は14ページを、録音時間設定は20ページをご覧ください。）

1. **電源**スイッチを「**入**」にして、電源を入れます。
2. 本機裏面の**録音モード**スイッチで希望の録音モードに設定します。

		画面表示
：	「**対話**」（音声が近い場合）	DICT
：	「**会議**」（周囲1～1.5mの小会議）	CONF
：	「**講議**」（録音対象にマイクを向けて使用する場合）	LECT

3. 希望するメニューモード（ID、VAS、録音時間など）を設定します。（16～23ページ）
4. **メニュー/フォルダ**ボタンを押して、録音するフォルダを選択します。（24ページ）
5. オペレーションスイッチを「**録音**」にすると、録音が始まります。
   ※ 録音インジケータが点灯して、液晶パネルに「**REC**」マークを表示します。
   ※ 自動的に録音日時も記録されます。

「REC」表示



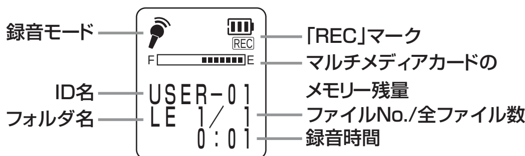
6. 録音を停止するときは、オペレーションスイッチを「**停止**」にします。



ちょっとこれを

- 録音モードは録音中に切り替えることができます。
- 録音はモノラル録音になります。

録音中の画面表示について



ご注意

- それぞれのフォルダに対して、99ファイルまで記録することができます。99ファイルまで録音されている場合は、No.99の続きに録音します。（音声アラームフォルダには1つのファイルのみ記録されます。）
- 録音容量がなくなった場合、右画面が約2秒間表示されます。不必要なファイルを消去してください。（35〜38ページ）



インデックス（再生頭出し機能）をつける

録音中に**インデックス/キャンセル**ボタンを押すと、「**INDEX**」を表示してその箇所にインデックスマークがつき、そのまま録音を続けることができます。再生時に頭出しするときに便利です。

ひとつのファイルに対して、32箇所までのインデックスマークをつけることができますが、個々のインデックスマークを消去することはできません。

※ OVER WRITE（上書き録音）またはINSERT（挿入録音）中も同様にインデックスマークをつけることができます。

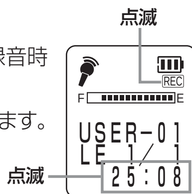
※ 33箇所目のインデックスマークをつけようとすると「**INDEX FULL**」と表示されます。

ファイルナンバーについて

録音するたびに、新規のファイルNo.が追加されて録音内容が記録されます。

録音を一時停止する

録音中に**ポーズ**ボタンを押すと、「**REC**」マークと「録音時間」表示が点滅し、一時停止状態になります。
録音を再開するときは、もう一度**ポーズ**ボタンを押します。



VAS：音声起動録音設定について

VAS（音声起動録音設定）を「**ON**」に設定（20ページ）しておけば、音声を録音するのに録音状態にしたり停止状態にしたりしなくても、音声を感知して自動的に録音を開始します。

ご注意

- **VAS**機能が「**ON**」に設定されている状態で録音を開始すると、約2秒間は無条件に録音されます。
- 音声レベルが約2秒間設定レベル以下になると、録音を一時停止します。

録音内容をモニターするには

ヘッドホン端子（ 🎧 ）にヘッドホンを差し込みます。その状態で26ページからの手順にしたがって録音をすると、録音している内容をヘッドホンからモニターする（聞く）ことができます。

録音データを編集する

ご注意

- 上書き、または挿入録音する場合は、エディットモードが表示されている間(約3秒以内)に録音を開始してください。3秒間が経過すると通常録音に戻ります。
- 電池残量表示の目盛りが2つ以下の場合、上書き録音、挿入録音できないことがあります。
- 録音容量がなくなった状態では、挿入録音することができません。
このとき録音するには他の不要なファイルを削除する必要があります。

OVER WRITE:上書き録音

以前に録音されている内容は自動的に消去します。

1. **電源**スイッチを「**入**」にして、電源を入れます。
2. オペレーションスイッチを「**再生**」にして、希望する上書き開始位置でオペレーションスイッチを「**停止**」にして、停止状態にします。
※ 再生停止時の時間が表示されます。

USER-01
BU 1/ 1
25:15

3. **ポーズ**ボタンを押して、エディットモードを「EDIT OVER WRITE」にします。

EDIT
OVER
WRITE

4. 「EDIT OVER WRITE」表示中に、オペレーションスイッチを「**録音**」にすると、停止していた箇所から上書き録音がはじまります。

USER-01
BU 1/ 1
25:20

カウント開始

5. オペレーションスイッチを「**停止**」にすると、録音を終了します。

USER-01
BU 1/ 1
30:45

上書き録音停止時間

ご注意

- 上書き録音を開始したファイルNo.のデータのみ上書きされます。
  古いデータより長い時間上書き録音しても同一のファイルNo.のデータが延長され、次のファイルNo.のデータが上書きされることはありません。
- 上書き録音は、以前の記録を消去します。上書きされるデータが必要であるときは、あらかじめパソコンに転送するなど、バックアップをしておいてください。

INSERT：挿入録音

1. **電源**スイッチを「**入**」にして、電源を入れます。
2. オペレーションスイッチを「**再生**」にして、希望する挿入開始位置でオペレーションスイッチを「**停止**」にして、停止状態にします。
   ※ 再生停止時の時間が表示されます。

   USER－01
   BU 1／ 1
   25：15

3. **ポーズ**ボタンを押して、エディットモードを「EDIT INSERT」にします。

   「INSERT」表示
   INSERT
   EDIT
   INSERT

4. 「EDIT INSERT」表示中に、オペレーションスイッチを「**録音**」にすると、停止していた箇所から挿入録音がはじまります。

   USER－01
   BU 1／ 1
   25：20
   カウント開始

5. オペレーションスイッチを「**停止**」にすると、録音を終了します。

   USER－01
   BU 1／ 1
   30：45
   挿入録音停止時間

再生する

再生をはじめる

1. **電源**スイッチを「**入**」にして、電源を入れます。

2. **再生スピード**スイッチで希望の再生スピードに設定します。

「**遅い**」.......ゆっくりしたスピードで再生（標準の約0.75倍速）
「**標準**」.......録音時のスピードのまま再生
「**速い**」.......速いスピードで再生（標準の約1.5倍速）

※ 再生中に再生スピードを切り替えることもできます。

3. **メニュー/フォルダ**ボタンを押して、希望のIDまたはフォルダを選びます。（18、24ページ）

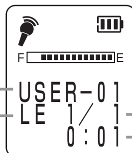
4. オペレーションスイッチを「**再生**」にすると、再生がはじまります。
◇ 希望するファイルから再生する場合は、スキップ/サーチボタン ⧏◁ または ▷⧐ でファイルNo.を選択しておきます。

5. **＋音量－**ボタンを押して、希望の音量に調節します。

6. 再生を停止するときは、オペレーションスイッチを「**停止**」にします。
※ 同一フォルダ内のすべてのデータの再生が終了すると、自動的に停止します。

ちょっとこれを

再生中の画面表示について

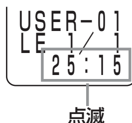


ID名
フォルダ名
ファイルNo./全ファイル数
再生時間

《VOICEモード時》
基本操作
録音する／再生する

再生を一時停止する

再生中に、**ポーズ**ボタンを押すと、「再生時間」表示が点滅し、一時停止状態になります。
再生を再開するときは、もう一度**ポーズ**ボタンを押します。



スキップ/サーチについて

◇ ファイルスキップ

スキップ／サーチボタンを押す	モード状態	このようになります
⧏⊲、⊳⧐	停止中	前後のファイルNo.を表示
⊳⧐（下側）	再生中	次のファイルNo.を表示し、頭より再生
	最後のデータ再生中	最初のデータの頭に戻り、再生を始める
⧏⊲（上側）	再生中	再生中の曲の頭に戻り、続けて押すと、前の曲の頭に戻る
	最初のデータ再生中	最後のデータの頭に戻り、再生を始める

◇ ファイルの頭出し

再生中または再生一時停止中に、スキップサーチボタン ⧏⊲ を押すと、「再生時間」表示が「0:00」になり、頭から再生します。
一時停止中の場合は、一時停止状態が続きます。

◇ **ファイルサーチ**

再生中、スキップサーチボタン |◁◁ または ▷▷| を押している間、ファイルを前後にサーチします。

ファイルの最後まで早送りすると、次のファイルの先頭から早送り再生を続けます。また、ファイルの先頭まで早戻しすると、そのひとつ前のファイルの最後から早戻し再生を続けます。

最終ファイルの早送り再生終了後、停止状態になります。

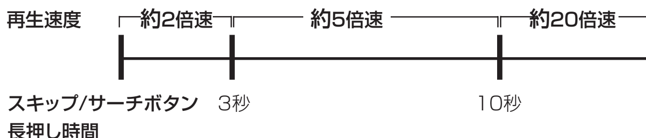
一番先頭のファイルの早戻し再生終了後、ボタンから手をはなすと先頭のファイルの再生を始めます。

早送りまたは早戻し再生中、ファイルの音声は出力されます。

(再生一時停止時に早送りまたは早戻し再生をした場合は、音声は出力されません)

● **早送りまたは早戻し再生は3段階(約2倍速、約5倍速、約20倍速)に速度が変わります。**

早送りまたは早戻し



※ スキップサーチボタン |◁◁ または ▷▷| を離すと通常再生に戻ります。



ちょっとこれを

再生中にレビュー機能を使うと簡単に早戻し操作をおこなうことができます。オペレーションスイッチを「**レビュー**」の位置で保持します。

手を離すとすぐに再生状態へ戻ります。

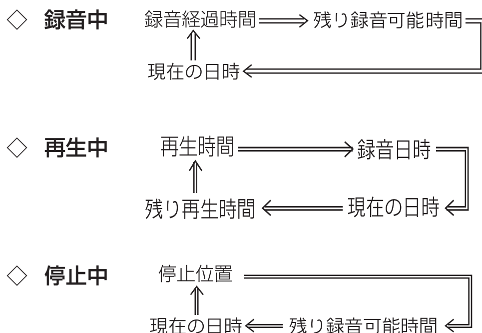
動作についてはファイルサーチ(早戻し)と同様に働き、ファイルの先頭で停止します。

◇ **インデックスサーチ**

ファイルにインデックスマーク(27ページ)が付いている場合、再生中に**インデックス/キャンセル**ボタンを押すと、インデックスマークをサーチし、その箇所から再生します。

日時/設定内容を見るときは

録音中、再生中または停止中において**タイム/セット**ボタンを繰り返し押すと、日時やファイルの内容が下記の順で画面に表示します。



消去する

ご注意

消去する前に、電池残量が充分あることを確認してください。



消去の準備

消去する前に、必ず消去したいフォルダ、またはIDを選びます。

1. **電源**スイッチを「**入**」にして、電源を入れます。

2. オペレーションスイッチを「**停止**」にします。

3. 消去したいデータのフォルダ、またはIDを選択します。（18、24ページ）

4. **インデックス/キャンセル**ボタンを押すと、もとの画面に戻ります。

消去する

ファイルを消去する

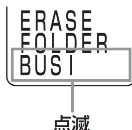
1. **メニュー/フォルダ**ボタンを押して、希望のフォルダを選び、スキップ/サーチボタン ⧏◁ または ▷⧐ を押して、消去したいファイルNo.を選びます。

2. **消去**ボタンを**1回押す**と、ファイルNo.が点滅します。

3. 点滅している間に**タイム/ セット**ボタンを押すと、「**ERASE**」が表示されて、1つのファイルを消去します。
※ 消去後のファイルNo.は繰り上がります。



フォルダを消去する



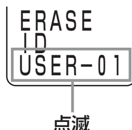
1. **メニュー/フォルダ**ボタンで消去したいフォルダを選びます。

2. **消去**ボタンを**2回押す**と、フォルダ名が点滅します。

3. 点滅している間に**タイム/ セット**ボタンを押すと、「**ERASE**」が表示されて、フォルダを消去します。
 ※ 消去したフォルダに含まれていたファイルはすべて消去されます。

IDを消去する

同一IDで作成されたデータを消去します。



1. **消去**ボタンを**3回押す**と、ID名が点滅します。

2. 点滅している間に**タイム/ セット**ボタンを押すと、「**ERASE**」が表示されて、同一IDで作成されたデータをすべて消去します。

全データを消去する

すべてのフォルダの全ファイルを消去します。



1. **消去**ボタンを**4回押す**と、「**ALL MEMORY**」が点滅します。

2. 点滅している間に**タイム/ セット**ボタンを押すと、「**ERASE**」が表示されて、すべてのフォルダの全ファイルを消去します。

ご注意

PD modeのVOICE内フォルダのすべての音声データを消去しますが、MUSIC内のデータは消去しません。

ご注意

- 消去を途中で中止する場合は、**タイム/セット**ボタンを押す前に**インデックス/キャンセル**ボタンを押してください。
- **消去**ボタンは、録音中や再生中は機能しません。必ず停止した状態で使用してください。

※ 消去できるファイルがない場合、**消去**ボタンを押しても、機能しません。
　オペレーションスイッチを「**再生**」にすると、フォルダ画面を表示します。

データの一部を消去する

ファイルデータの一部を部分的に指定し、消去します。

1. スキップ/サーチボタン ⧏⊲ または ⊳⧐ を押して、部分的に消去したいデータのファイルNo.を選びます。

2. オペレーションスイッチを「**再生**」にします。

3. 部分的に消去したい始まりの位置(START)で、**ポーズ**ボタンを押して一時停止状態にします。

※ 再生時間表示が点滅します。

4. **消去**ボタンを押すと、右の画面を表示し、点滅をはじめます。

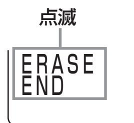


※ 3秒以上放置すると、一時停止状態に戻ります。

5. 点滅している間に**タイム/ セット**ボタンを押すと、「**ERASE**」の状態を保持したまま、自動的に再生を再開します。



6. 部分的に消去したい終わりの位置(END)で、**消去**ボタンを押すと、右の画面を表示し、点滅をはじめます。



7. 点滅している間に**タイム/セット**ボタンを押すと、しばらく「**ERASE**」と画面に表示され、指定した部分のデータが消去します。

◇ 消去後は、一時停止状態になりますので、解除して消去されたか確認してください。

ご注意

「ERASE GUARD」がONに設定されているときに消去操作をすると、「GUARD」が表示されて、消去することができません。「ERASE GUARD」をOFFに設定してください。(22ページ)

音声アラームタイマー

あらかじめ、お好みの音声や音楽を「**ALARM**」フォルダに録音しておきます。予約日時が来ると、メッセージやアラーム音で知らせます。

音声アラームタイマーを設定する

1. **電源**スイッチを「**入**」にして、電源を入れます。
2. アラーム設定で「**ALARM ON VOICE**」を選択した後、アラーム日時を設定します。（14ページ）
3. **メニュー/フォルダ**ボタンを押して「**ALARM**」フォルダを選択します。（16ページ）
4. オペレーションスイッチを「**録音**」にして、お好みのメッセージを録音します。

   ALARM
   0:01

   ※ アラームメッセージは1件のみ録音することができます。

   ※ 「**ALARM ON MUSIC**」を選択したときは、音楽(WMAまたはMP3)をアラームメッセージとして使うことができます。（55ページ以降を参照）

   ※ 「**ALARM ON BEEP**」を選択したときやアラームメッセージを録音しない場合は、アラーム音が鳴ります。
5. 録音を停止するときは、オペレーションスイッチを「**停止**」にします。

解除するには、アラーム設定（19ページ参照）を“OFF”にしてください。

ご注意

アラームメッセージが録音されている場合は、右図が表示されて録音できません。アラームメッセージを消去してから録音してください。（35ページ）



アラーム設定日時になると

アラーム設定の日時が来ると、自動的にアラーム音が鳴ります。
アラームタイマーの鳴りかた（動作）は以下のとおりです。

停止中、電源「切」のとき

◇ メッセージを録音していれば
メッセージが再生されます。

◇ メッセージを録音していなければ
アラーム音が5回鳴ります。

再生中のとき

再生中の音声が中断されて、上記と同じ鳴りかたをします。

録音中、レビュー中のとき

録音またはレビューがそのまま継続されます。
アラーム音またはメッセージは鳴らずに画面のアラーム表示が点滅します。

ちょっとこれを

アラーム通知後は、アラーム通知前の動作（状態）に戻ります。

メッセージを確認したいとき

すでに録音されているメッセージを確認することができます。

1. **メニュー/フォルダ**ボタンを押して「**ALARM**」フォルダを選択します。
2. オペレーションスイッチを「**再生**」にすると再生が始まり、メッセージを確認できます。



ちょっとこれを

メッセージアラームがMUSICの時は確認できません。パソコンを接続して確認してください。

《MUSICモード時》

再生する

再生をはじめる

1. **電源**スイッチを「**入**」にして、電源を入れます。
   ※　再生スピードは変わりません。
2. オペレーションスイッチを「**再生**」にすると、再生がはじまります。
   ◇ 希望するファイルから再生する場合は、スキップ/サーチボタン ⧏◁ または ▷⧐ でファイルNo.を選択しておきます。
3. **＋音量－**ボタンを押して、希望の音量に調節します。
4. 再生を停止するときは、オペレーションスイッチを「**停止**」にします。
   ※ 再生が終了すると、自動的に停止し、"曲名とEND"を表示します。

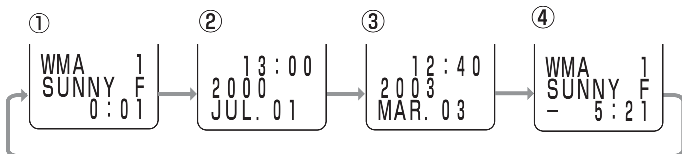
ご注意

- マルチメディアカードを入れても再生できる**ミュージック**フォルダが無いとき、「**NO MUSIC**」と表示されます。
- MUSICモード時に「VOL 10」以上音量を上げたりしますと、曲の種類によっては音が割れたり、ひずんだりすることがあります。その場合は、音量を下げてください。

◆ MUSICモード時、リピート/ランダム再生ができます。
◆ 「日時/設定内容を見るときは」の画面表示が違います。
◆ 「再生を一時停止する」と「スキップ/サーチについて」はVOICEモード時をご覧ください。

タイム／セットボタンについて

再生状態で**タイム/セット**ボタンを押すたびに、下のように画面が切り替わります。**ポーズ**状態でも同じ表示をします。



①：上の行に録音形式と曲番、真中の行に曲名、下の行には再生時間が表示されます。(曲名表示は曲名が入っていないと表示されません。)

②：曲が録音された日時および時間を表示します。

③：現在の日時および時間を表示します。

④：① の残りの再生時間を表示します。

停止状態で**タイム/セット**ボタンを押すと、①と③が交互に表示されます。

リピート/ランダム再生について

1つのデータまたはすべてのデータを繰り返し再生することができます。また、すべてのデータを順不同に並び替えて繰り返し再生することができます。詳しい設定方法は23ページの「再生モード設定」を参照してください。再生モード設定後は31ページの「再生をはじめる」と同様に操作します。



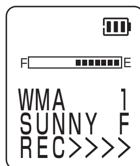
ちょっとこれを

● MP3とWMAを合わせて500曲の音楽が再生できます。

日時/設定内容を見るときは

録音中、再生中、または停止中において**タイム/セット**ボタンを繰り返し押すと、日時やファイルの内容を下記の順で画面に表示します。

◇ **録音中** **右の様に表示が出て**日時/設定内容は見えません。



◇ **再生中**

再生時間 ⇒ 録音日時 ⇒ 現在の日時 ⇒ 残り再生時間 ⇒ 再生時間

◇ **停止中**

停止位置 ⇒ 現在の日時 ⇒ 停止位置

消去する

ミュージックフォルダの音楽ファイルは、本機では消去できません。
63ページの「本機に録音されたファイルを削除する」をご覧になって、消去してください。

パソコンに接続して使う

動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、以下のようなパソコン環境が必要になります。

■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC-98シリーズとその互換機・Macintoshでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種	IBM PC/AT互換機
対応OS(日本語版)	Windows XP Home Edition Windows XP Professional Windows Millennium Edition(Me) Windows 2000 Professional Windows 98 Windows 98 Second Edition
USBポート	本製品接続時にひとつ必要
サウンドボード	Windows®互換の16-bitをサポート
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ―Windows 各OSからのアップグレード環境
  ―Windows 95、Windows NT
  ―Windows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンドなどのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。

ドライバ(USB/LD-ADPCM)のインストール

ここではお手持ちのパソコンに、USBドライバとLD-ADPCMドライバをインストールする方法を説明します。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

ご注意

- インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了しておいてください。
- **本機がパソコンに接続されていたら、パソコンより外しておいてください。**

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

CD-ROMを入れると、「**SANYO USBドライバ&LD-ADPCMドライバセットアップ**」が起動し、以下の画面が表示されます。

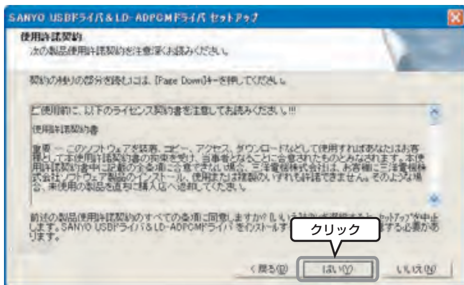
起動しない場合はエクスプローラなどでCD-ROMのルートディレクトリにある「**setup.exe**」をダブルクリックして実行します。



3 ドライバをパソコンにインストールする

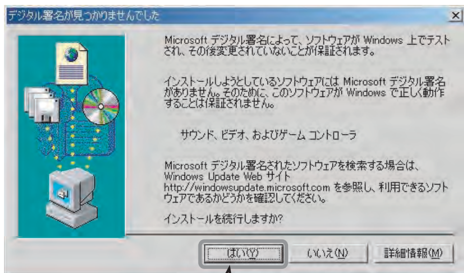
1. 「**次へ**」をクリックしてください。

2. 下記使用許諾契約の確認画面が表示されます。一読された上で、同意される場合は「**はい**」をクリックしてください。

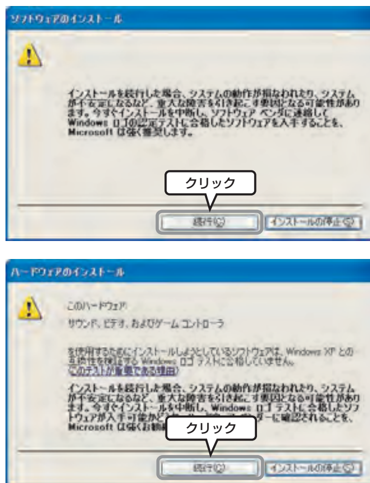


3. ファイル署名の確認の設定において「警告する」ように表示設定をしているOSの場合（Windows XPおよびWindows 2000）は、下記の画面が表示されますので「**はい**」または「**続行**」をクリックしてください。

<**Windows 2000**の場合>



<Windows XPの場合>



ご注意

- パソコンの設定で、ドライバの署名を「**ブロック**」にしている場合は「はい」が表示されません。ドライバ署名オプションを「**警告**」か「**無視**」に変更後、再度インストールしてください。

[ファイルの署名の確認]のオプション設定をするには

1. コントロールパネルの[システム]を開きます。
2. [ハードウェア]タブをクリックし、[ドライバの署名]をクリックします。
3. [ファイルの署名の確認]で、「**ブロック**」、「**警告**」か「**無視**」を選択クリックします。

無視　：デバイスドライバにデジタル署名が有る無しに関わらず、すべてのデバイスドライバをインストール出来るようにする。

警告　：デジタル署名のないデバイスドライバをインストールプログラムがインストールしようとしたときに警告メッセージを表示する。

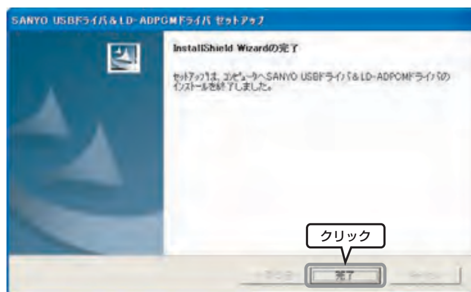
ブロック：デジタル署名のないデバイスドライバをインストールプログラムがインストールすることを禁止する。



ちょっとこれを

- 管理者またはAdministratorsグループのメンバーとして、ログオンしている場合、選択した設定をコンピュータにログオンするすべてのユーザーの、既定の設定として適用するには[システムの既定として、設定を適用する]をクリックします。

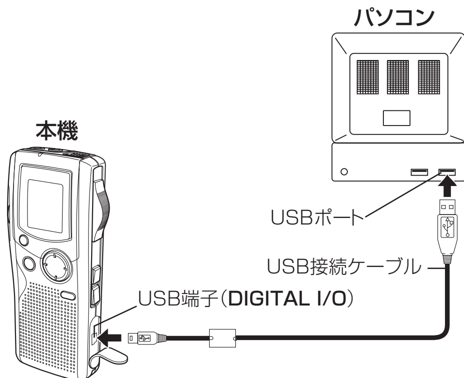
4. 下記画面が表示されるので「**完了**」をクリックしてインストールを完了してください。



これでUSBドライバとLD-ADPCMドライバがインストールされました。

1 本機をパソコンに接続する

1. **電源**スイッチを「**切**」にして、電源を切ります。
2. 専用USB接続ケーブル(付属)を使用して、本機とパソコンを接続します。(下図参照)



ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時、本機に電池がなくても動作します。
- 読み込み中や、書き込み中にマルチメディアカードやUSBケーブルを抜かないでください。マルチメディアカードが破損する恐れがあります。

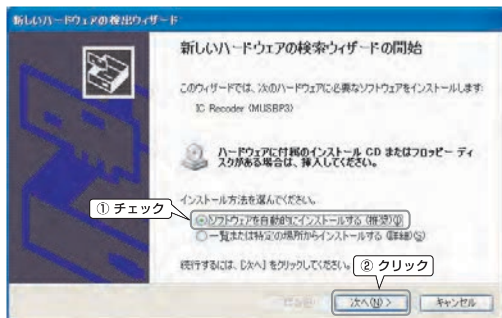
Windows98/98SE/Me/2000をご使用の場合、以下の操作は不要となります。
初めてパソコンに接続したときに、自動的にUSBドライバが更新されます。

Windows XPをご使用の場合、以下の手順で操作してUSBドライバを更新してください。

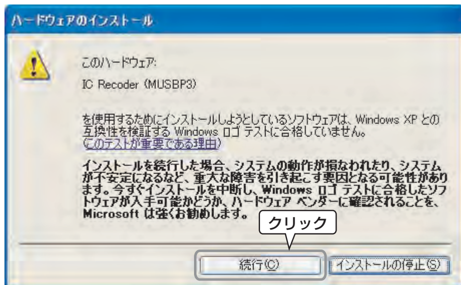
2 USBドライバを更新する

初めてパソコンに接続したときのみ、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。
画面の指示に従ってください。

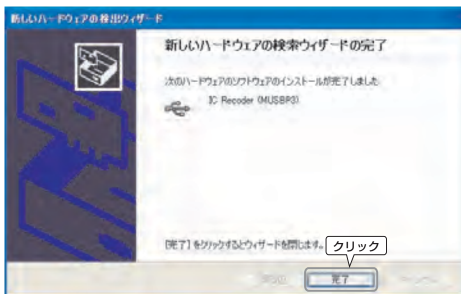
1. 「**新しいハードウェアの検出ウィザード**」が開くので、「**ソフトウェアを自動的にインストールする**」にチェックして、「**次へ**」をクリックしてください。



2. ファイル署名の確認の設定において「警告する」ように表示設定をしている場合は、下記の画面が表示されますので「**はい**」または「**続行**」をクリックしてください。



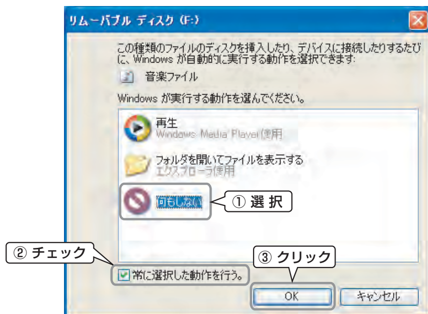
3. 下記画面が表示されるので「**完了**」をクリックしてインストールを完了してください。



4. ドライバの情報更新がおこなわれ、USBドライバを認識します。
インストール終了後、認識が完了するまでに約20秒ほどかかります。

3 Windowsが実行する動作を選ぶ

接続後、下記画面が表示されます(Windows XPのみ)。
Windows98/98SE/Me/2000に関しては、この操作はありません。



お客さまの使用環境に合わせて設定してください。
本書の例では「**何もしない**」を選択後、「**常に選択した動作を行う。**」にチェックして、「**OK**」をクリックしています。

これで、パソコンとの接続は完了です。
パソコンに接続している間、本機は以下の表示になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。
転送表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

[パソコン接続時の本機表示]



[パソコンとの通信時の本機表示]



本機をパソコンから取り外す

Windows98/98SEをご使用の場合、この操作は不要となります。
通信していない事を確認してから、本機をそのままパソコンから取り外してください。

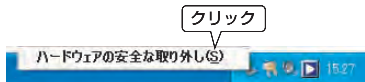
Windows XP/Me/2000をご使用の場合、下記の手順で取り外してください。OSによって若干画面表示が異なりますが、ご了承ください。
（下記は、Windows XPの画面を使用しています。）

1 「タスクトレイ」のアイコンをクリックする

Windows画面右下の「**タスクトレイ**」のアイコンを右クリックします。

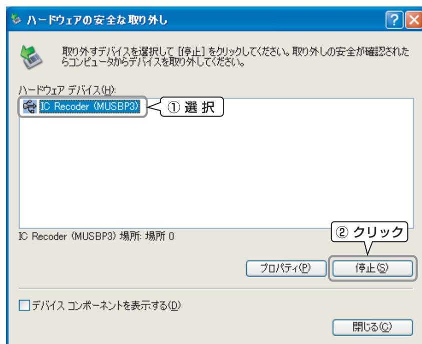


2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする



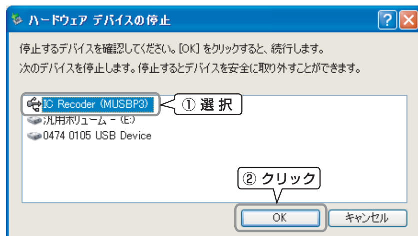
3 デバイスを選択し、「停止」をクリックする

「IC Recoder (MUSBP3)」を選択して、「**停止**」をクリックします。



4 停止するデバイスを確認し、「OK」をクリックする

「IC Recoder (MUSBP3)」を選択して、「**OK**」をクリックします。



「**'…' は安全に取り外すことができます。**」と表示されます。
本機をパソコンから取り外してください。

Windowsのエクスプローラでの表示について

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラで、マイコンピュータ内にリムーバブルディスクとして表示され、メディアカードに記録されたデータを表示することができます。
リムーバブルディスク内は、ルートディレクトリとVOICERECフォルダ、MUSICフォルダにわかれます。（関連ページ→18ページ「使用モード選択」）

[リムーバブルディスク(F:)・・・・・・ルートディレクトリ・MUSICフォルダ]

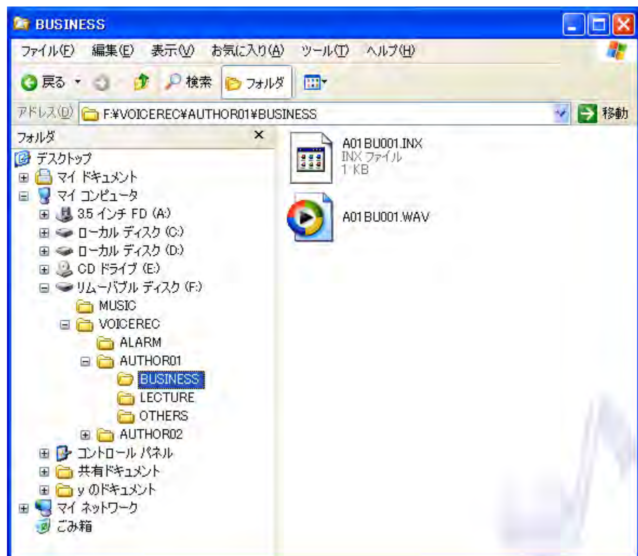
パソコンから転送する音楽ファイルを保存する場所。

- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、WMA形式またはMP3形式のファイルに限ります。
- ルートディレクトリのファイルは、パソコンから転送された順に再生されます。
  ファイルを削除したり、追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。
- 極端に短い曲を多く入れる場合、ルートディレクトリに入れられる曲数に制限があります。本機で再生できる曲数は「ルートディレクトリ*」と「MUSIC」あわせて500曲です。
  *ルートディレクトリ … ドライブの最上位ディレクトリのこと

[VOICERECフォルダ]

本機にて録音したファイルを保存するフォルダ。

- 本機にて録音したファイルは、"BU01_XXX（ファイル番号）.WAV"という名に変換され、保存されます。
- ファイル名を変更するとそのファイルは本機で再生できなくなりますのでご注意ください。
- VOICEフォルダ内のファイルは、ファイル番号順に再生されます。
- VOICEREC/MUSICフォルダは、各99ファイルまでしか保存できません。
- VOICEフォルダ内のファイルは、Windows Media Player等のソフトウェアを使用してパソコン上で聞くことができます。



MUSIC :　　MUSICモード(41ページ参照)時に必要なフォルダ
VOICEREC :　VOICEモード(24ページ参照)時に必要なフォルダ
ALARM :　　アラーム用音声を格納するフォルダ
AUTHOR01 : 選択したID(18ページ参照)の作業フォルダ
(AUTHOR01～99)(録音されたデータはこのフォルダ内に格納されます。)

　BUSINESS : "BUSI"フォルダ選択時の録音データ格納先
　LECTURE : "LECT"フォルダ選択時の録音データ格納先
　OTHERS : "OTHERS"フォルダ選択時の録音データ格納先

各フォルダは、本体の電源スイッチを入れると自動的に作成されます。
VOICERECフォルダ内のWAVデータ以外は削除しないでください。

パソコンに保存されたファイルを本機に転送する

エクスプローラを使ってデータ転送する

パソコンに保存されたファイル(MP3形式)を本機で再生することができます。

ご注意

- MP3形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- お客さまが転送したMP3形式ファイルは、個人として楽しむほかは著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。

1 本機をパソコンに接続する

本機をパソコンのUSB端子に接続します。接続方法は49ページの「本機をパソコンに接続する」の手順1をご覧ください。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

リムーバブルディスクの動作選択画面が表示されます(Windows XPのみ)。選択方法は52ページの「本機をパソコンに接続する」の手順3をご覧ください。

Windows98/98SE/Me/2000に関しては、この操作はありません。
(以下、説明で使用する画面はWindowsXPとなります。)



ちょっとこれを

本書で説明に使用するWindows XPの画面は**エクスプローラ**を使用したものです。**エクスプローラ**を起動しない場合でも、画面の表示方法が異なるだけで、同じ動作を問題なくおこなえます。
本書と同じエクスプローラ画面でご使用になる場合は、以下の方法でWindows XPの**エクスプローラ**を起動させてください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合がありますが、問題はありません。

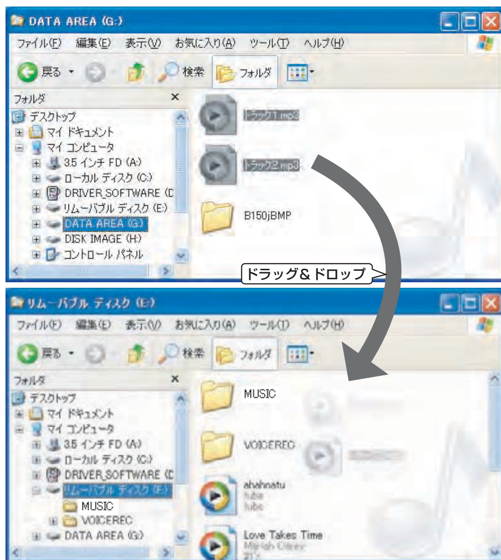
「**スタート**」の中の「**マイ コンピュータ**」を右クリックしてメニューを呼び出し、「**エクスプローラ**」を選択します。



これで、**エクスプローラ**が起動します。

3 ファイルを本機にコピーする

コピーしたいMP3ファイルを選択し、**リムーバブルディスク**の**ミュージック**フォルダへドラッグ&ドロップします。



これで、本機への転送は完了です。

ご注意

- **ファイル**は必ず**ミュージック**フォルダ**もしくはルートディレクトリ**へ入れてください。**ミュージック**フォルダ**に入れるのを推奨します。**
  各フォルダ内に入れても再生できません。
- 転送したファイルの順に再生されます。再生順番を変更することはできません。

Windows Media™ Playerを使ってデータ転送する

パソコンに保存されたファイル（WMA形式）を本機で再生することができます。デジタルボイスレコーダーで再生できるファイル形式はWindows Media™ Playerで「ポータブルデバイスにコピーできるファイルの種類」のうち48〜160kbpsファイルのみとなります。

1 本機をパソコンに接続する

本機をパソコンのUSB端子に接続します。接続方法は49ページの「本機をパソコンに接続する」の手順1をご覧ください。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

リムーバブルディスクの動作選択画面が表示されます（Windows XPのみ）。選択方法は52ページの「本機をパソコンに接続する」の手順3をご覧ください。

Windows98/98SE/Me/2000に関しては、この操作はありません。

（以下、説明で使用する画面はWindowsXPとなります。）



ちょっとこれを

Windows Media™ Playerについて

Microsoft Windows Media™ Playerをインストールしていれば、WMAファイルをデジタルボイスレコーダーに転送して聞くことができます。
操作の方法について詳しくは、Windows Media™ Playerのオンラインヘルプをご覧ください。

- Windows Media™ Playerの入手方法の詳細は http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/をご覧ください。

3 ファイルを本機にコピーする

1. Windows Media™ Playerを起動し、「**デバイスへコピー**」タブをクリックしてください。

マルチメディアカード内の楽曲がWindows Media™ Playerの「**ポータブルデバイス**」側の画面に表示されます。

認識されない場合は、F5キーを押してください。



デバイスへコピータブ

2. デジタルボイスレコーダーに転送したいWMAファイルを選択後、Windows Media™ Player画面の「**音楽のコピー**」ボタンをクリックしてください。
コピーが始まり「デバイス上の音楽」に曲が追加されます。



ご注意

- ファイルは、必ずリムーバブルディスク内のルートディレクトリもしくはミュージックフォルダ（XPのみ転送可能）へ入れてください。
  各フォルダ内に入れても再生できません。
- WMAファイルの仕様および著作権管理方式が変更になった場合には、デジタルボイスレコーダーにてWMAファイルが再生できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 転送したファイルの順に再生されます。再生順番を変更することはできません。

本機に録音されたファイルを削除する

● パソコン画面上で、本機に録音されたファイルを削除します。
パソコン画面上では、ファイル名(曲名)等が表示されるため、削除したいファイルを正確に指定することができます。

削除したいファイルを選択後、マウスの右クリックでメニューを出し、「**削除**」を選択します。



これで、選択したファイルは削除されます。

本機に保存されたファイルをパソコンに転送する

エクスプローラを使ってデータ転送する

1 本機をパソコンに接続する

本機をパソコンのUSB端子に接続します。接続方法は49ページの「本機をパソコンに接続する」の手順1をご覧ください。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

リムーバブルディスクの動作選択画面が表示されます(Windows XPのみ)。選択方法は52ページの「本機をパソコンに接続する」の手順3をご覧ください。

Windows98/98SE/Me/2000に関しては、この操作はありません。

3 本機ファイルをパソコンのフォルダにコピーする

コピーしたいMP3ファイルを選択し、**リムーバブルディスク**の**ミュージック**フォルダからパソコンのフォルダにドラッグ&ドロップします。

パソコンでマルチメディアカードをフォーマット(初期化)する

- パソコン画面上で、本機内のマルチメディアカードの内容をフォーマット(初期化)します。
- 本機をパソコンのUSB端子に接続しておきます。接続方法は49ページの「本機をパソコンに接続する」の手順1をご覧ください。
- 本機を使用して、全てのフォルダを消去するには、36ページ「全データを消去する」をご覧ください。

ご注意

- マルチメディアカードに記録されていたデータはすべて消去されます。
  フォーマットする前に、内容をよく確認してください。
- マルチメディアカード内に本機で記録したデータ以外のデータが入っている場合は、そのデータも消去されます。
- 市販のマルチメディアカードやSDカードはお買い上げ時にすでにフォーマットされていますので、再度フォーマットをする必要はありません。
  付属のマルチメディアカード(32MB)についても同様です。

付属のソフトを使ってフォーマット(初期化)する

付属ソフトの機能を使って、マルチメディアカードとSDカードをフォーマットすることができます。

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

「**SANYO USBドライバ&LD-ADPCMドライバセットアップ**」が起動する場合はウィンドウ右上の「×」ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

2 フォーマット(初期化)する

1. エクスプローラなどでCD-ROMの「**Tools**」フォルダにある「**FMT.exe**」をダブルクリックして実行します。

2. 「**フォーマット**」をクリックします。



「フォーマット中」と表示後、「フォーマットが完了しました」と表示されます。



これでマルチメディアカードがフォーマット(初期化)されます。

エクスプローラの機能を使ってフォーマット(初期化)する

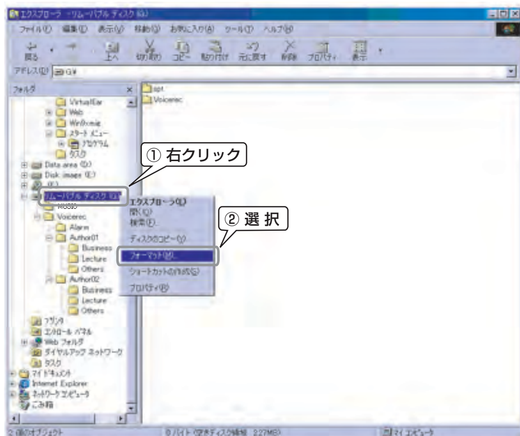
Windows98/98SE/MEの場合、Windowsのエクスプローラの初期化の機能を使って、マルチメディアカードとSDカードをフォーマットすることができます。

(下記は、Windows 98SEの画面を使用しています。)

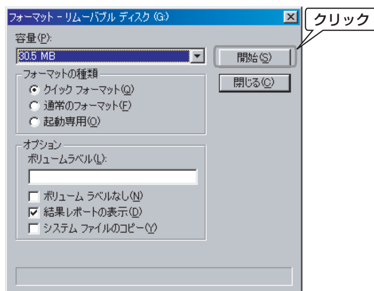
1 フォーマット(初期化)する

1. Windowsのエクスプローラなどで「**マイコンピュータ**」内の「**リムーバブルディスク**(本機)」を選択後、右クリックでメニューを出し、「**フォーマット**」を選択します。

● フォーマットすると、全てのデータが消えてしまいますので、必要なデータはバックアップしておいてください。



2. メニューから「**開始**」をクリックします。



これでマルチメディアカードがフォーマット(初期化)されます。

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　因1	乾電池が正しく入っていないか、乾電池切れである。
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。 一度乾電池を完全に抜いてから、乾電池を入れ直してください。 または新しいアルカリ乾電池に替えてください。(10ページ)

ボタンを押しても反応しない

原　因1	USB接続したままである。
解決方法	**本機のUSBコネクタを外**してください。

音声が聞こえない

原　因1	ヘッドホンが接続されている。
解決方法	ヘッドホンを本機から抜いてください。

原　因2	音量が最小になっている。
解決方法	**+音量−**ボタンを押して、音量を調節してください。(15ページ)

消去できない

原　因1	画面に が表示している。
解決方法	誤消去防止機能をオフにしてください。(22ページ)

SDカードで録音ができない

原　因1	ライトプロテクトスイッチが**ON**になっている。
解決方法	ライトプロテクトスイッチを**OFF**にしてください。

転送した音楽データが再生されない

原　因1	MP3ファイルもしくはWMAファイルではない。
解決方法	**MP3もしくはWMAファイルである事を確認**してください。

表示パネルは表示されるが、音楽は再生されない

原　因1	**音楽データが正しく無いので、**再生時間が早く進んで音楽が再生されない。
解決方法	パソコンで再生できるか確認してください。

原　因2	正しく転送できていないため、音楽は再生されない。
解決方法	**転送方法を確認**してください。

「REC>>>>」が表示される

原　因1	MUSICモードでオペレーションスイッチを「録音」にした。
解決方法	**録音する場合にはPDモードを「VOICE」にしてください。（18ページ）**

「MEMORY FULL」が表示される

原　因1	マルチメディアカードのメモリ残量が不足している
解決方法	必要のない音声ファイルを削除してください。(35ページ)

「NO CARD」が表示される

原　因1	マルチメディアカードが挿入されていない。
解決方法	マルチメディアカードを挿入してください。(12ページ)

「NO MUSIC」が表示される

原　因1	PDモードがMUSICになっていてMUSICデータが入っていない。
解決方法	MUSICの入っているマルチメディアカードに替えるかPDモードをVOICEに切り替えてください。(18ページ)

原　因2	音声ファイルを作成することができない。
解決方法	必要のない音声ファイルを削除するか、パソコンでマルチメディアカードをフォーマットしてください。(35、65ページ)

「NO DATA」が表示される

原　因1	メモリが一杯でデータが作れない。
解決方法	パソコンで不要なデータを削除するかフォーマットしてください。(63、65ページ)

「CARD ERR」が表示される

原　因1	データを正しく読み取ることができない。
解決方法	パソコンでそのデータを削除してください。または、フォーマットしてください。(63、65ページ)

「Can' t ERASE」が表示される

原　因1	音声ファイルを削除することができない。
解決方法	パソコンでそのデータを削除してください。(63ページ)

「SYSTEM ERR」が点滅表示される

原　因1	音声ファイルを作成することができない、またはマルチメディアカードのデータが正常でない。
解決方法	必要のない音声ファイルを削除するか、パソコンでマルチメディアカードをフォーマットしてください。(35、65ページ) または、**消去**ボタンを押して、新しい音声ファイルをもう一度作成してください。(35ページ)

操作や表示が正常に動作しない

原　因1	本機をリセットする必要がある。
解決方法	本機をリセットしてください。(72ページ)

ドライバ(USB/LD-ADPCM)のインストール途中で、「・・・インストールができませんでした。・・・」というエラーメッセージが表示される

原　因1	CD-ROMを入れ「ドライバセットアップ」が起動中に、エクスプローラなどで「Setup.exe」を実行している、もしくは「Setup.exe」を2回実行しているなど、ドライバのインストーラーを2つ以上起動している。
解決方法	ドライバのインストーラーを1つだけ起動するようにして、再度インストールを開始してください。

Windows98において、ドライバ(USB/LD-ADPCM)のインストール後、本機をパソコンに接続するとドライバを再度指定するように要求される

原　因1	他の周辺機器のドライバのセットアップ途中にキャンセルした状態でドライバ(USB/LD-ADPCM)のインストールをおこなったためドライバを再度指定するように要求される。
解決方法	パソコンを再起動後、本機をパソコンに接続してください。

リセットする

実行内容や画面の表示が通常でないときは、**RESET**ボタンを押してください。

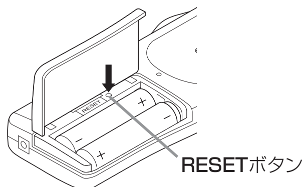
1. 乾電池カバーを開けます。

2. 一度乾電池を外します。

3. 先の細い棒状のもの（例えば針金など）を使い、**RESET**ボタンを押すと停止状態になります。

※保存されたデータは消えません。

4. 約2分後、乾電池を入れます。（極性を間違わないでください。）



バックアップのおすすめ

間違った操作や本機の誤動作によるデータ損失などの危険性を避けるため、本機の大切なデータはパソコンなどにコピーし、バックアップデータとして保管することをおすすめします。

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本機の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

対応 OS	：Windows XP/Me/2000/98/98SE
録音時間	：約 260 分（32MB/ ロングモード時） 約 130 分（32MB/ スタンダードモード時）
録再周波数特性	：600 ～ 5,300Hz（HQ 時） 600 ～ 3,800Hz（SP 時） 600 ～ 1,900Hz（LP 時）
録音フォーマット	：三洋オリジナルの LD-ADPCM 方式
再生フォーマット	：MP3、WMA 形式
再生周波数	：20Hz ～ 20kHz
再生対応ビットレート	：16 ～ 192kbps（MP3） 16 ～ 160kbps（WMA）
S/N 比	：82dB
入出力端子	：USB ヘッドホン 3.5 φミニ（市販品） 外部マイク（サービス会社扱い）
動作温度	：＋ 5℃～＋ 35℃
定格出力	：100mW(スピーカー 8 Ω負荷時、JEITA/DC) 8mW(ヘッドホン 16 Ω負荷時、JEITA/DC)
電源	：単 4 形アルカリ乾電池× 2 本
電池持続時間	：アルカリ乾電池　14時間50分(連続録音時間) アルカリ乾電池　9時間45分(連続再生時間) ※連続録音再生時間は、電池の種類 メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
最大外形寸法	：幅 48 ×高さ 113 ×奥行き 19mm
質量	：約65g（電池含む）
付属品	：単 4 形アルカリ乾電池 (2)、CD-ROM （1） 専用USB接続ケーブル (1)、ケース （1） 取扱説明書(保証書付) (1)、ヘッドホン (1) マルチメディアカード(1)

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※包装箱の品番の末尾のアルファベット文字は色表示の記号です。色は異なっても操作方法と仕様は同じです。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際 販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の68ページからもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

デジタルボイスレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口： 家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口： 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口

北海道地区	☎	札幌	(011)290-1522
東北地区	☎	仙台	(022)714-6137
関東地区	☎	東京	(03)3815-1111
中部･北陸地区	☎	名古屋	(052)533-5245
近畿･四国地区	☎	大阪	(06)6994-9570
中国地区	☎	広島	(082)544-6036
九州･沖縄地区	☎	福岡	(092)263-7629

相談受付時間　月曜日～土曜日（祝日および当社の休日を除く）
9:00～12:00、13:00～17:00

郵便･FAXでご相談される場合は

● **東京お客さまセンター**
FAX (03)5803-3699
〒113-8434
東京都文京区本郷3-10-15

● **大阪お客さまセンター**
FAX (06)6994-9510
〒570-8677
大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理相談窓口（修理サービスについてのご相談にお問い合わせください）

受付時間　月曜日〜土曜日(祝日および当社の休日を除く)
9:00〜12:00、13:00〜17:30

北海道地区

北海道地区　**出張修理のご相談窓口**　**☎ 札幌 (011)833-7888**
修理ご相談窓口　**☎ 札幌 (011)831-9200**

[北海道]	札幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央3条4-1-36
	函館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗589-295
	苫小牧	(0144)33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町2-2-5
	旭川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北3条7-3-3
	北見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
	釧路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7
	帯広	(0155)24-4973	〒080-0016	帯広市西6条南5-3-8

東北地区

東北地区　**出張修理のご相談窓口**　**☎ 仙台 (022)382-2213**
修理ご相談窓口　**☎ 仙台 (022)382-5616**

[青森県]	青森	(017)729-3401	〒030-0141	青森市大字上野字山辺29-5
	八戸	(0178)28-9225	〒039-1103	八戸市長苗代字観音堂50-5
[秋田県]	秋田	(018)862-6551	〒010-0925	秋田市旭南3-2-67
[岩手県]	盛岡	(019)635-0136	〒020-0863	盛岡市南仙北1-13-6
[山形県]	山形	(023)641-1769	〒990-2432	山形市荒楯町1-21-30
[宮城県]	仙台	(022)384-0444	〒981-1225	名取市飯野坂3-4-8
[福島県]	郡山	(024)945-6793	〒963-0111	郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関東地区

関東地区　出張修理のご相談窓口　☎ 東京 (03)5302-3401
修理ご相談窓口　☎ 東京 (03)3372-5701

[東京都]	城　北	(03)3958-1261	〒173-0021	板橋区弥生町72-5
	江　東	(03)3685-8166	〒136-0071	江東区亀戸1-8-6
	城　東	(03)3607-3191	〒125-0051	葛飾区新宿4-10-15
	城　南	(03)3421-5171	〒154-0003	世田谷区野沢3-5-3
	城　西	(03)3376-3361	〒151-0073	渋谷区笹塚3-1-13
	府　中	(042)364-7721	〒183-0045	府中市美好町2-3-1
[山梨県]	甲　府	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14
[神奈川県]	横　浜	(045)939-0281	〒224-0054	横浜市都筑区佐江戸町788番地 富士商工第二ビル
	横須賀	(0468)65-8362	〒237-0062	横須賀市浦郷町5-2931-22
	平　塚	(0463)55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮5-10-4
	相模原	(042)742-2272	〒228-0805	相模原市豊町17-11
[埼玉県]	大　宮	(048)664-2319	〒330-0038	さいたま市宮原町1-30
	坂　戸	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17
[千葉県]	千　葉	(043)241-7311	〒260-0025	千葉市中央区問屋町5-20
	鎌ヶ谷	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59
[栃木県]	宇都宮	(028)653-2811	〒321-0106	宇都宮市上横田町1302-12
[群馬県]	太　田	(0276)46-3821	〒373-0852	太田市新井町211-2
	高　崎	(027)362-1151	〒370-0001	高崎市中尾町池の内441
[茨城県]	水　戸	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
	つくば	(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑 2-15-3
[新潟県]	新　潟	(025)285-2431	〒950-0971	新潟市近江244
	長　岡	(0258)24-0705	〒940-0029	長岡市東蔵王2-3-46
	上　越	(0255)43-3535	〒942-0074	上越市石橋2-2-9

中部地区

中部地区	出張修理のご相談窓口	☎ 名古屋 (052)459-3456
	修理ご相談窓口	☎ 名古屋 (052)451-3335

[愛知県]	名古屋	(052)451-3161	〒453-0804	名古屋市中村区黄金通5-10
	岡崎	(0564)23-3418	〒444-0065	岡崎市柿田町1-2
[静岡県]	静岡	(054)261-4151	〒420-0813	静岡市長沼885
	沼津	(055)963-1000	〒410-0861	沼津市真砂町3-1
	浜松	(053)461-8685	〒435-0016	浜松市和田町795-2
[長野県]	松本	(0263)26-1107	〒390-0835	松本市高宮東1-35
	長野	(026)299-9501	〒388-8006	長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2
[岐阜県]	岐阜	(058)246-3417	〒501-6006	羽島郡岐南町伏屋1-35
[三重県]	津	(059)228-8126	〒514-0838	津市岩田10-3
[石川県]	金沢	(076)237-7811	〒920-0062	金沢市割出町627
[富山県]	富山	(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8
[福井県]	福井	(0776)22-6082	〒918-8231	福井市問屋町1-17

近 畿 地 区

近畿地区　出張修理のご相談窓口　☎ 大阪 (06)4250-8400
修理ご相談窓口　☎ 大阪 (06)6993-2251

[大阪府]	大　阪	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
	大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
	大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	東大阪市今米2-3-29
	阪　和	(072)221-8571	〒590-0959	堺市大町西3-1-16
[奈良県]	奈　良	(0744)22-7888	〒634-0837	橿原市曲川町 7-1-31
[和歌山県]	和歌山	(073)436-3110	〒641-0006	和歌山市中島369
[兵庫県]	阪　神	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
	神　戸	(078)651-3951	〒652-0897	神戸市兵庫区駅南通2-1-11
	姫　路	(0792)96-2141	〒670-0981	姫路市西庄字八町108
	洲　本	(0799)22-2702	〒656-0101	洲本市納字横竹308-1
[京都府]	京　都	(075)672-0877	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町41
	福知山	(0773)27-3458	〒620-0856	福知山市土師宮町1-66
[滋賀県]	大　津	(077)545-4221	〒520-2134	大津市瀬田1-1-5

四 国 地 区

四国地区　出張修理のご相談窓口　☎ 高松 (087)844-8321

[香川県]	四　国	(087)843-1840	〒761-0104	高松市高松町2175-10
[愛媛県]	松　山	(089)971-3342	〒791-8036	松山市高岡町148-1
[高知県]	高　知	(088)860-0229	〒781-5106	高知市介良乙1044
[徳島県]	徳　島	(088)699-4131	〒771-0219	板野郡松茂町 笹木野字八北開拓150-2

中国地区

中国地区	出張修理のご相談窓口	☎ 広島 (082)293-9333
	修理ご相談窓口	☎ 広島 (082)295-3799

[広島県]	広　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町3-17-5
	福　山	(084)925-3455	〒720-0077	福山市南本庄3-1-48
[岡山県]	岡　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
[山口県]	山　口	(083)973-3391	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町2-6
[鳥取県]	鳥　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
[島根県]	松　江	(0852)23-1183	〒690-0017	松江市西津田4-1-14

九州地区

九州地区	出張修理のご相談窓口	☎ 福岡 (092)922-6111
	修理ご相談窓口	☎ 福岡 (092)922-6440

[福岡県]	福　岡	(092)928-3414	〒818-8534	筑紫野市紫6-1-1
	北九州	(093)521-5286	〒802-0023	北九州市小倉北区下富野2-10-28
	久留米	(0942)21-3534	〒830-0052	久留米市上津町字赤坂1890-2
[長崎県]	長　崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎市本河内町922
	佐世保	(0956)31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1
[熊本県]	熊　本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本市南高江町3-2-88
[大分県]	大　分	(097)543-3454	〒870-0822	大分市大道町3-4-32
[宮崎県]	宮　崎	(0985)29-3441	〒880-0036	宮崎市花ケ島町観音免883
[鹿児島県]	鹿児島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10

沖縄地区

[沖縄県]	沖　縄	(098)944-5018	〒903-0103	西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

上記お客さまご相談窓口の名称、所在地、電話番号は、ご通知なしに変更することがありますのでご了承ください。

(221102s)

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   - ロ. お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   - ニ. 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
   - ホ. 本書の提示がない場合。
   - ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   - ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間が経過した後の修理についての詳細は「保証書とアフターサービス」(75ページ)をご覧ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行